

教科(科目)	芸術(書道Ⅰ)	単位数	2単位	指導学年	1学年(選択)
使用教科書	東京書籍「書道Ⅰ」				
副教材等	教育図書「ペン習字の基礎」				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	①広い知識と科学的思考に裏付けられ、事に臨んで適切な判断ができる人間に育てる。 ②強靱な体力と不屈の忍耐力を持ち、信念を持って行動するたくましい人間に育てる。 ③相手の立場に立って物事を考え、人の心を汲み取って思いやる温かい人間に育てる。
カリキュラム・ポリシー	①1・2学年では全員が共通の科目を学び、広く基礎的な知識・技能を身につけます。 ②3学年では選択科目を多く設置し、個々の興味・関心を進路目標に合わせ科目を選択し学びます。 ③授業第一主義とし、主体的・対話的で深い学びの授業、ICTを積極的に活用しわかりやすい授業を実践します。 ④長岡市との「探究学習の推進に関する連携協定」のもと、地域の大学、企業、行政と連携し、地域資源を活用した生徒主体の探究活動を実践します。 ⑤学校行事や部活動では、安全安心な環境を整備し、生徒の主体的な活動を支援します。

2 学習目標

道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- （1） 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
- （2） 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
- （3） 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3 指導の重点

- ・毎時間の目標にしたがって作品を制作し、提出できるようになることを目指す。
- ・机間巡視による個別指導で、基礎的用筆法・技法の習得を目指す。
- ・自己評価カードにより古典の鑑賞・理解を深めるとともに、作品制作に対する反省点を把握し、意欲を引き出すことを目指す。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・書の表現方法や形式、書表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身につけ、表している。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	書の伝統や文化と豊かに関わり自主的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

5 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・提出作品 ・作品ファイル ・ワークシート ・「学習の記録」による学習過程 ・「学習のまとめ」の内容 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・提出作品 ・活動の様子 ・「学習の記録」による学習過程 ・作品ファイル ・ワークシート ・「学習のまとめ」の内容 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・活動の様子 ・提出作品 ・作品ファイル ・ワークシート ・「学習記録」による学習過程 ・鑑賞カード などから、評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点 「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。 内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の 観点	評価方法
4	書写から 書道へ	4 オリエンテー ション 用具用材	用具用材 姿勢執筆法	・先人の作品から、心情や人間性を汲み取る。 ・筆の持ち方や姿勢について ・具用材の特性を知り、表現の違いを知る。	b c	鑑賞レポート ワークシート 提出作品 学習記録
5	漢字の書	1 6 ・楷書の用 筆、字形 ・古典の基本 的な点画、 表し方	九成宮醴泉 孔子廟堂碑	・基本的書道用語、漢字の成立と変遷について理 解する。 ・楷書の特徴を知り、用筆、字形の取り方を理解 する。	a b	提出作品 学習記録 ワークシート 学習活動の様子
6			孟法子碑 造像記	・「造像記」の方形式に構えた字形を基に刻字を制 作する。	a b c	制作カード 学習活動の様子 学習記録
7	創作をし よう(楷 書) 鑑賞	4 楷書創作 (2～3字)	楷書 (2字)	・採択の技法を知る。	b	制作カード 学習活動の様子
9	行書の古 典を学ば う	6 古典の基本的 な点画、表し 方	蘭亭序	・古典の特徴や技法を生かして制作する。 ・行書を知り、行書の特徴を理解する。 ・行書の用筆、字形のとり方について理解する。	b C a	制作カード ワークシート 学習活動の様子 提出作品
10	創作をし よう(行 書) 鑑賞	6 行書創作 (4字熟語)	風信帖	・「風信帖」と空海について知る。 ・「風信帖」を臨書する。	a	提出作品 ワークシート 鑑賞レポート
11	篆刻、刻 字をしよ う	1 4 ・篆刻 ・刻字	姓名印	・落款印について知る。 ・篆刻の用具・材料や手順を知り、姓名印を制作 する。	a	制作カード 学習活動の様子
12			造像記		b	提出作品 ワークシート 学習活動の様子 学習記録
1	仮名の書 に親しも う	4 ・仮名の用筆 ・単体、連綿 体、臨書	仮名の基本線 いろは 高野切第三種	・仮名の成立や仮名の種類について理解する。 ・仮名の基本的な線、運筆について理解し、練習 する。 ・いろは帖の制作	a	制作カード 学習活動の様子 学習記録
2	生活の中 の書 漢字仮名 交じりの 書	1 0 ・構成の工 夫、形式 ・漢字仮名交 じりの書	形式 礼状 のし袋	これまでに学んだことを日常に生かす。		
3						

計 64 時間 (55 分授業)

7 課題・提出物等

- ・毎時間学習内容は「学習記録」に記録し、課題に応じて作品制作カード、および学習成果（作品）を提出する。
- ・制作にあたり、どのようなことを表現、工夫をしたかを作品制作カードに記録していく。
- ・学習成果（作品）提出前に書いたもの（試書）などをファイルしておく。
- ・单元ごとに、「学習記録」・ファイル・試作カードとともに「学習のまとめ」を行い、自己評価する。
- ・自分の作品や友人の作品に対する鑑賞がどのように深まっていったかを、鑑賞カードなどを用いて確認する。

8 担当者からの一言

- ・「何ができるようになったか」を大切にしたいと思います。1 時間の中での進歩、单元を通しての進歩、学期を通しての進歩、そして、1 年間の学習を通しての進歩が感じられるような学習の取り組みをして下さい。
- ・一人一人の個性を生かし、これを伸ばしていくことを学習の第一目標としています。練習する古典や題材とする語句などについて、自分を最高に生かせる選択をしていきたいものです。
- ・「書道Ⅰ」の学習を通して、生涯にわたり書を身近な存在として感じられるようになって欲しいと思います。

（担当：関 加代子）